

掛川市教育委員会定例会会議議事録

教育委員会事務局

会議の名称	平成22年12月掛川市教育委員会定例会				
場 所	掛川市役所南館会議室				
開 催 日 時	平成22年12月21日(火)		午後 3 時30分から午後 4 時40分まで		
次回開催日	平成23年 1 月24日 (月)				
出 席 者	委員長 委員長職務代理者 教育委員 教育委員 教育長 教育次長 小野恵美子 松下徳哲 平松季和子 山本靖彦 杉浦喜春 深川 学校総務課長 学校教育課長 幼児教育課長 社会教育課長 図書館長 調整室長 調整室指導主事 調整庶務係長 溝口 正和男 青野雅益 佐藤益男 大川原淳 綱取清貴 太田英之 小関昌典 小林昭子				

【会議次第】

- 開 会
- 11月教育委員会定例会会議録の承認について
- 教育長の報告
(事務報告及び行事予定)
- 協議事項について
 - 学校評議員の委嘱について
 - 学齢超過生徒の就学願いについて
 - 人づくり構想かけがわについて
- 報告事項について
 - 平成21年度新体力テスト結果について
 - 平成22年度全国体力運動能力・運動習慣等調査結果について
 - 平成23年度掛川市立幼稚園新入園児募集結果及び総園児見込数について
 - 平成22年12月掛川市議会本会議一般質問について
- その他
 - 次回定例会の日程等について
- 閉会

【議決事項】

1 学校評議員の委嘱について

学校教育課長

様式第1号・掛川市公立学校評議員推薦書に掲げる者について、学校教育法施行規則第49条並びに掛川市立小学校及び中学校の管理に関する規則第32条、掛川市公立学校評議員設置要綱により、掛川市公立学校評議員に委嘱する。

〈質疑・意見〉

なし。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

2 学齢超過生徒の就学願いについて

学校教育課長

前月の定例会において、体験入学の許可を受けた学齢超過生徒の体験入学状況から判断し、就学願いを受理する。

〈質疑・意見〉

委員： 今後中学校を卒業し、実際に受け入れてくれる高校はあるのか。

事務局： 高校は義務教育ではないので、どこの学校も門戸を開き、学齢超過の生徒についても同等の機会は与えられる。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

3 人づくり構想かけがわについて

調整室指導主事

掛川市教育振興基本計画である「人づくり構想かけがわ」は、策定から5年後を目途に見直しを行ない、次期計画を策定することになっている。内容については各年度各課で見直し、現状に合わた表記・文言に訂正していく。人づくり構想かけがわの冊子、それに伴う概要版リーフレットについては、今後更に見直し、1月の定例会で協議を依頼し、来年度に向けて改訂を行なっていく。

〈質疑・意見〉

委員： 平成23年度概要版リーフレットは、指標、目標値が具体的、明確に示されていて、わかりやすい。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

【報告事項】

1 平成21年度新体力テスト結果について

学校教育課長

文部科学省が各県から抽出で行なっている事業で、静岡県は小学校5・6年生、中学校1～3年生は悉皆、小学校1～4年生は任意参加している。その結果である掛川市の児童生徒体力・運動能力状況、全国・県との比較について報告した。

2 平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

学校教育課長

静岡県は新体力テストを全県一斉に取り組んでいるので、こちらは抽出校のみ実施している。その抽出校の結果、全国・県との比較について報告した。

3 平成23年度掛川市立幼稚園新入園児募集結果及び総園児見込数について

幼児教育課長

平成23年度掛川市幼稚園新入園児募集結果及び総園児見込数について説明した。

〈質疑・意見〉

委 員： 掛川駅周辺の保護者から、公立幼稚園が近くになく、また、優先的に入れる園もなく不公平だという意見を聞いた。

事務局： 幼保再編計画の中で、公私立幼稚園・保育園22園を8園にまとめ、中学校区毎に幼稚園を置くということは実現できた。地域子どもさんが就園できる状況をつくるには、掛川市全体の再編の検証もしながら、定数等も含めて検討していく。今後、南部の適正規模・適正配置も含め、北部の8園化構想の検証をしながら、平成23年度には掛川市新乳幼児教育振興計画を策定する。策定する上で充分検討し、私立幼稚園・保育園・幼保園の皆さんの御理解をいただけるような内容にしていきたい。

委 員： 幼稚園を選択する中で、やはり保育料のことは大きいのではないか。

事務局： 幼保園は学校法人と社会福祉法人と両方の法人を併せ持つが、どこもどちらかひとつの経験しかなく、未経験の部分があった。ようやく初めにできた幼保園では、段々わかってきて良い方向に向かっていると聞く。今までの成果と課題を検証して、国もこども園という方向に動いたので、ここで一気に改訂しないといけない時期きている。

委 員： 定員が30人か40人かというのはどうやって決めるのか。

事務局： 現在の幼児教育振興計画で定員を決めている。3歳児については1クラス20人ということで目標値を捉えている。文部科学省の幼稚園設置基準では、1クラス35人が原則となっているが、幼保再編する中で手厚い保育ができるように、また、国の基準よりももっと充実したクラス運営ができるようにということで、定員を定めている。

委 員： 例えば入園率が110%の幼稚園があるが、定員が40人ならばこうはならないと思うがどうか。

事務局： 施設の規模にもよるが、幼児教育振興計画の中で定員は定められていて、今後新計画の中では変えていかざるを得ない。ただ現在の定員は、掛川市全体の子ども数を充足する数になっているので、公立だけ定員を増やす訳にもいかない。

4 平成22年12月掛川市議会本会議一般質問について

調整室長

平成22年12月掛川市議会本会議一般質問について、教育委員会に関わる質問について報告した。